



株式会社エディオン

2024年3月期 第3四半期決算補足資料

2024年2月2日

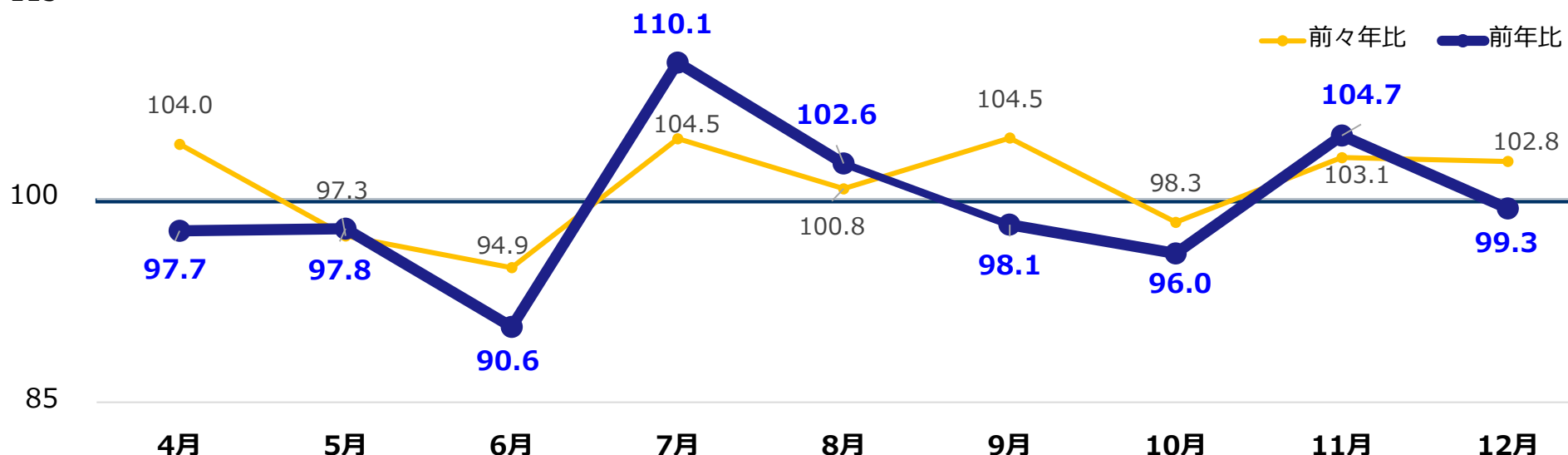
2024年3月期 第3四半期 実績報告

第3四半期累計 前年比 99.7（前々年比 101.2）

(%)
115

上期前年比 99.6
(前々年比 101.1)

第3四半期 前年比 100.0
(前々年比 101.6)



総 評

■ 第3四半期累計 **99.7**
前々年比 101.2

資源高、円安基調、ロシア・ウクライナ情勢など不安要素はあるなか、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行により、経済活動の正常化に向けた動きが活発化

■ 上期累計 前年比 **99.6**
前々年比 101.1

■ 第3四半期 前年比 **100.0**
前々年比 101.6

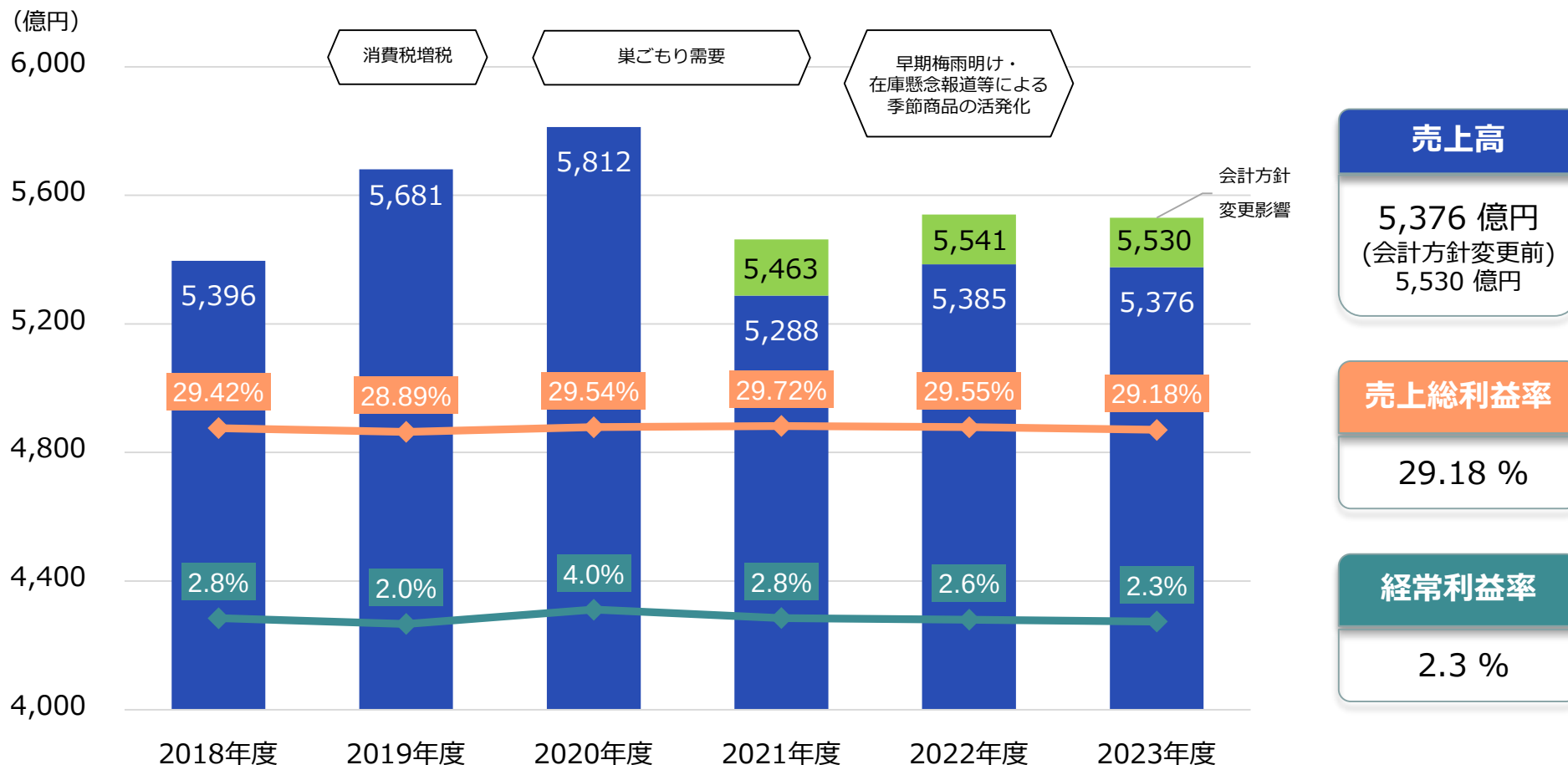
- ・第1四半期 前期に季節商品の早い動き出しで前年ハードル高
- ・第2四半期 猛暑の影響でエアコンが好調に推移

- ・やや暖かい日が多く暖房関連商品が苦戦した
- ・電気通信事業法改正による携帯電話の駆け込み需要が12月に増加

連結損益計算書

百万円・%	2023年3月期 3Q累計			2024年3月期 3Q累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		538,554	101.8		537,608	99.8	△945
売上総利益	29.55	159,119	101.3	29.18	156,849	98.6	△2,269
販売管理費	26.9	144,902	100.5	26.9	144,572	99.8	△330
広告宣伝費・販売費	6.6	35,557	99.0	6.6	35,536	99.9	△20
人件費	11.1	59,625	99.8	11.0	59,225	99.3	△399
設備費・その他管理費	7.7	41,628	104.7	7.8	41,953	100.8	325
減価償却費	1.5	8,092	93.3	1.5	7,856	97.1	△235
営業利益	2.6	14,216	109.1	2.3	12,277	86.4	△1,939
営業外収益	0.2	1,041	38.5	0.2	1,140	109.5	98
営業外費用	0.2	1,256	155.3	0.2	845	67.3	△411
経常利益	2.6	14,000	93.8	2.3	12,572	89.8	△1,428
特別利益	0.1	530	185.9	0.0	151	28.5	△379
特別損失	0.1	347	88.9	0.1	378	108.9	30
税金等調整前当期純利益	2.6	14,183	95.7	2.3	12,344	87.0	△1,838
法人税等他	0.9	4,801	97.4	0.8	4,293	89.4	△508
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.7	9,382	94.9	1.5	8,051	85.8	△1,330

業績推移サマリ（第3四半期累計）

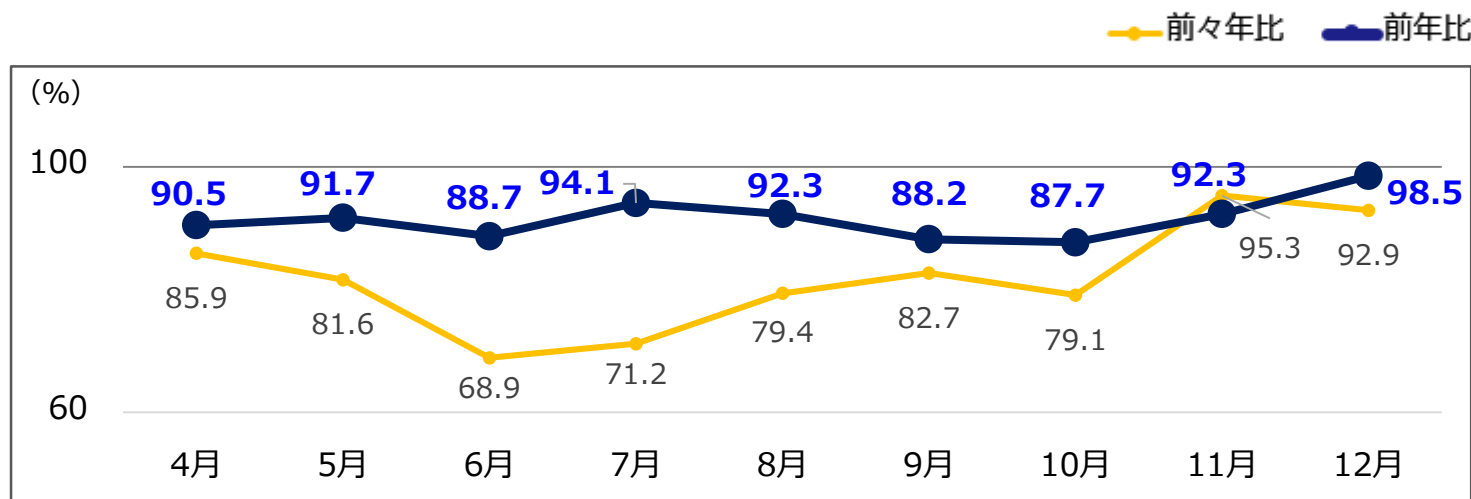


- 売上高 ほぼ前年並み 消費税増税・巣ごもり需要前（2018）と比較すると伸長
- 売上総利益率 当期実績 29.18% 前期 29.55% △0.37%減少
- 経常利益率 当期実績 2.3% 前期実績 2.6% △0.3%

主要商品別の状況① 商品別受注前年比（POSベース）

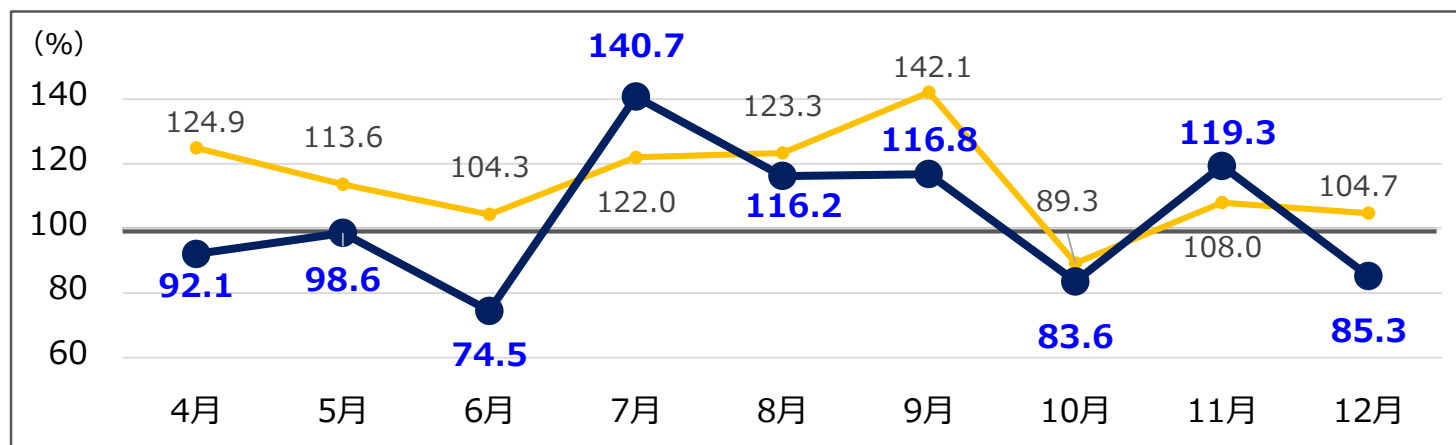
テレビ

第3四半期累計
前年比 91.9
(前々年比 81.7)



エアコン

第3四半期累計
前年比 103.5
(前々年比 115.9)



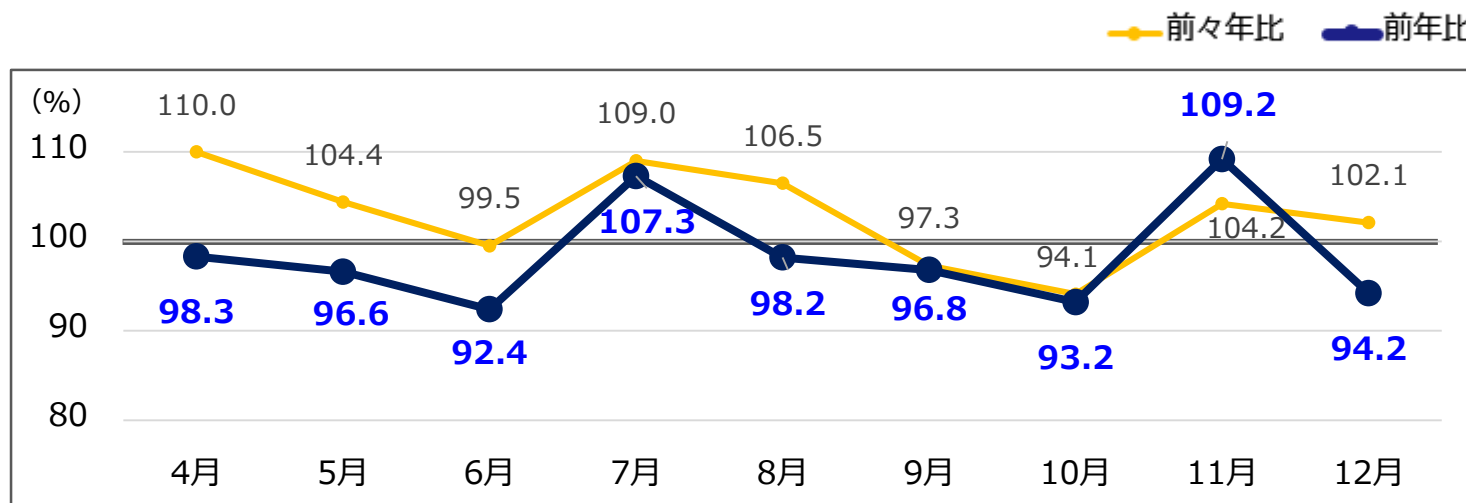
テレビ：東京オリンピック（2021.7）をピークとした買替需要の反動減が継続、12月は98.5%でやや底打ち感も出てきた

エアコン：第3四半期は比較的暖かい日が続き暖房商品全体でやや弱い動き

主要商品別の状況② 商品別受注前年比（POSベース）

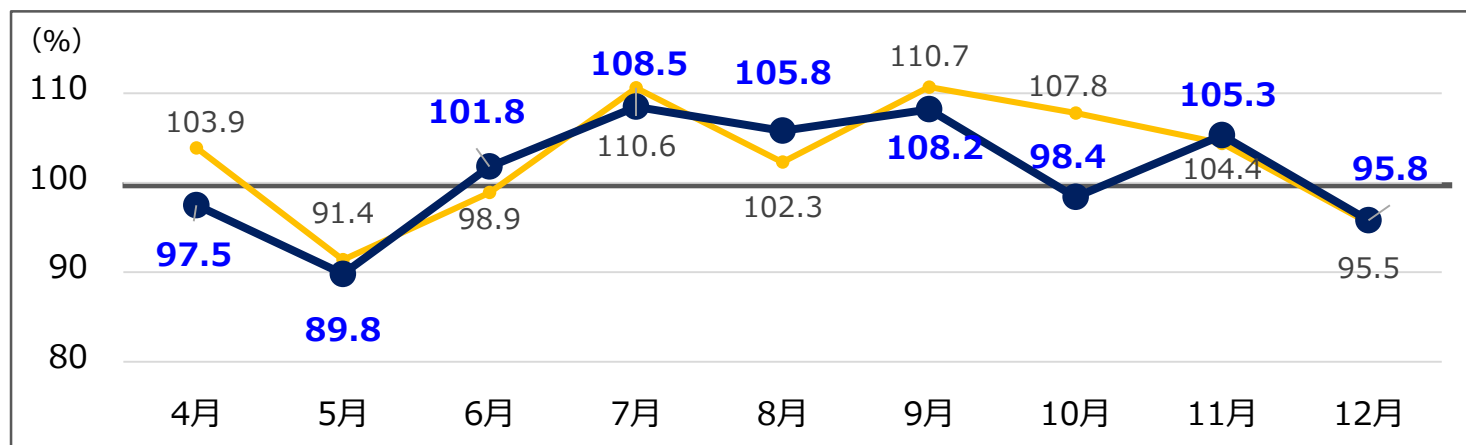
冷蔵庫

第3四半期累計
前年比 98.6
(前々年比 103.1)



洗濯機

第3四半期累計
前年比 101.3
(前々年比 102.7)



冷蔵庫：第3四半期に入り単価上昇の影響もあり、小型～400L前後の中小型モデルの構成が高まった

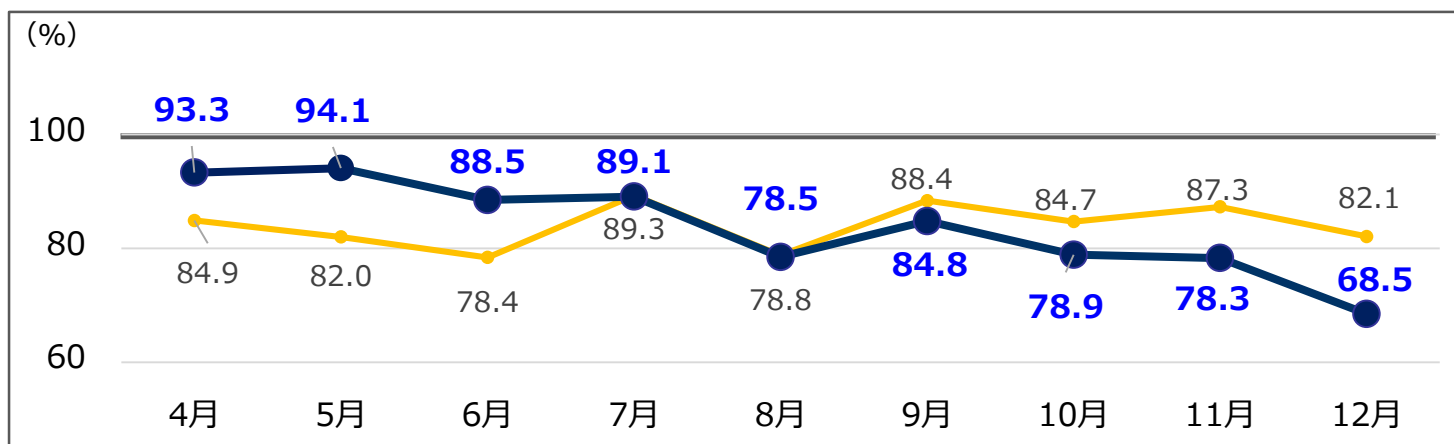
洗濯機：ドラム型や大容量縦型洗濯乾燥機など、高機能モデルの売れ行きが引き続き好調

主要商品別の状況③ 商品別受注前年比（POSベース）

— 前々年比 — 前年比

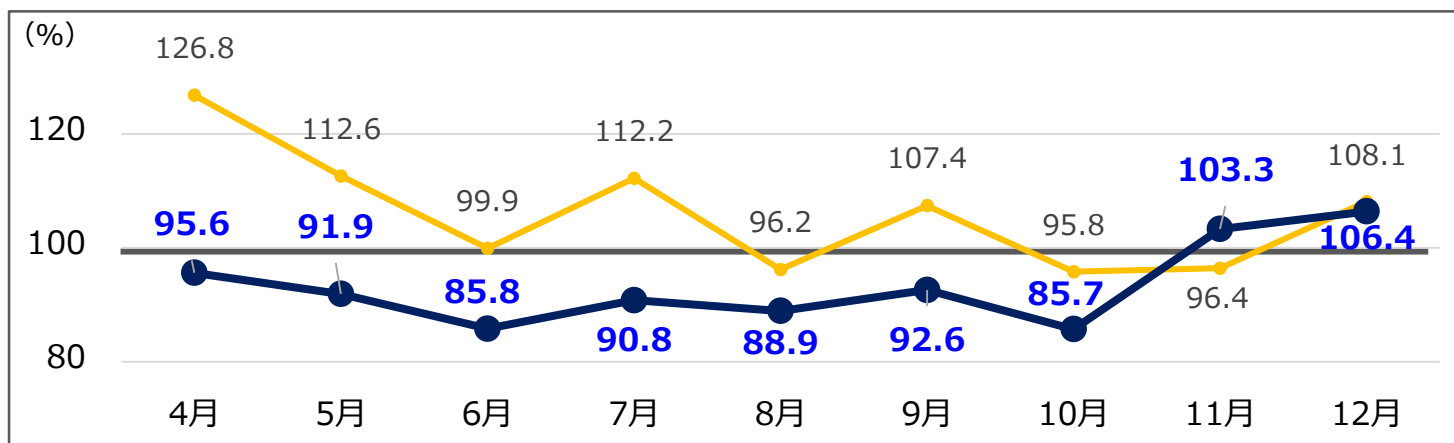
パソコン

第3四半期累計
前年比 82.9
(前々年比 84.1)



リフォーム (ELS)

第3四半期累計
前年比 93.2
(前々年比 105.4)



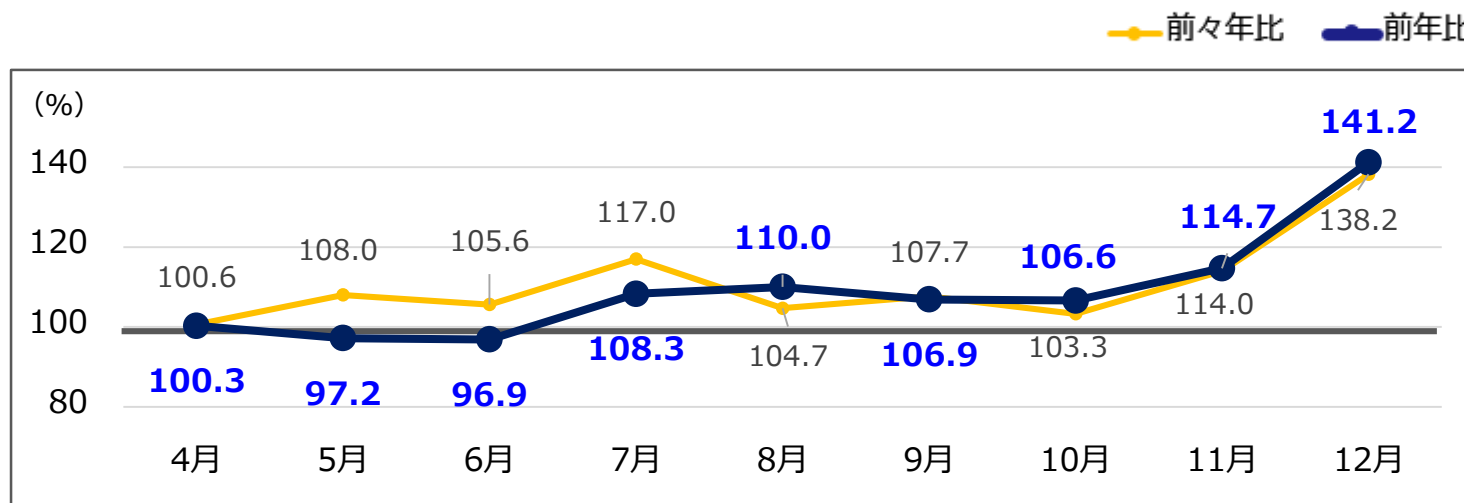
パソコン：前年同期はWindo8.1サポート終了による需要増加もあり低調に推移、VR・ゲーミングPC等新たな需要が増加

リフォーム：前年11月にリフォーム補助金施策が終了したため、反動減が継続していたが足元は伸長傾向

主要商品別の状況④ 商品別受注前年比（POSベース）

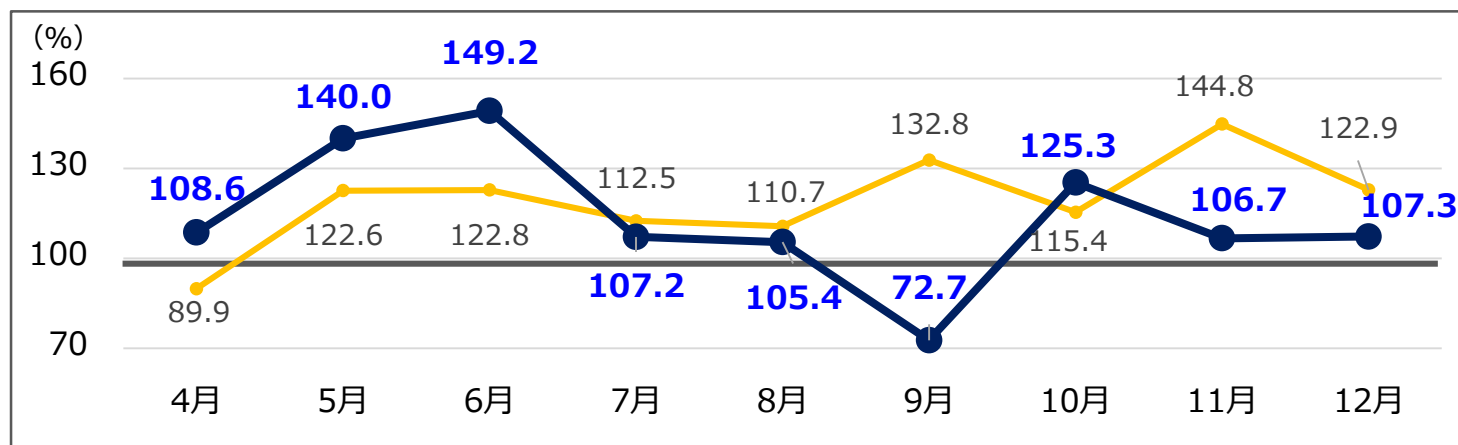
携帯電話（台数）

第3四半期累計
前年比 109.1
(前々年比 111.1)



(参考) ゲーム・玩具

第3四半期累計
前年比 109.1
(前々年比 119.8)



携帯電話（台数）：電気通信事業法改正前の駆け込み需要で、12月は台数が大きく伸長

(参考) ゲーム・玩具：ゲーム機本体・プラモデル・トレーディングカードなど幅広い需要で底堅く推移

売上総利益率・販管費率の状況（第3四半期）

1 売上総利益率



● 売上総利益率

当期実績 29.18% 前期 29.55% 前期差 △0.37%

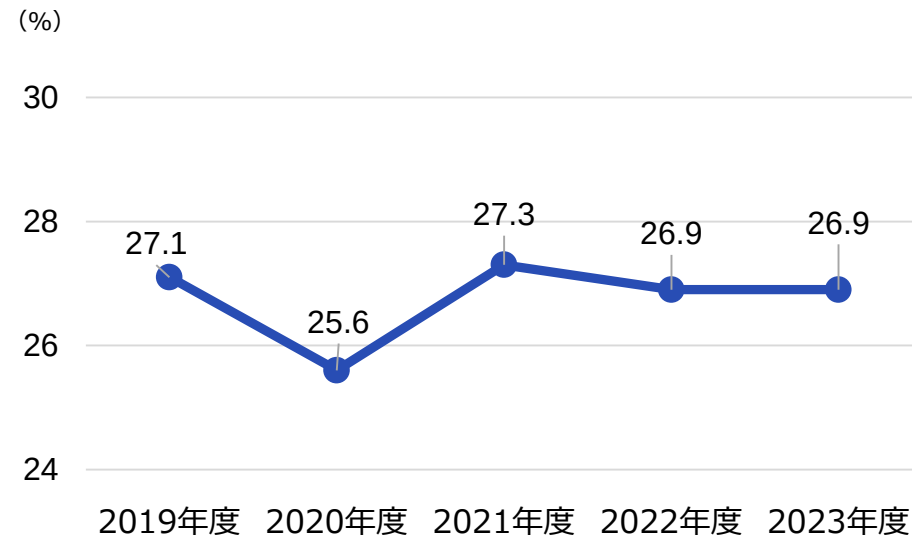
・上期 30.22% 前期 30.40% △0.18%

・第3四半期 27.19% 前期 27.94% △0.75%

(主な要因)

- 粗利率の高い暖房関連商品の構成低下、ゲーム・携帯電話の構成が高まり粗利ミックスで低下
- 携帯電話においては高単価機種が年末の駆け込みにより構成が上がり率に影響

2 販管費率



● 販売費及び一般管理費

当期実績 1,445億円 前期差 △3.3億円

➢ 広告宣伝費・販売費 355億円 △0.2億円
(広告宣伝費 △3.9億円)

➢ 人件費 592億円 △4.0億円

➢ 設備費・管理費 419億円 +3.2億円
(賃借料 3.6億円)

➢ 減価償却費 78.5億円 △2.3億円

連結貸借対照表および連結キャッシュフロー計算書

■ 連結貸借対照表

(百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減
現金及び預金	13,235	13,644	408
商品及び製品	116,061	138,038	21,977
その他	56,442	52,118	△4,323
流動資産	185,739	203,801	18,062
有形固定資産	122,126	180,478	58,351
無形固定資産	9,746	10,453	707
投資その他の資産	51,753	51,455	△307
固定資産	183,625	242,377	58,751
資産合計	369,365	446,179	76,814
流動負債	107,841	168,424	60,583
固定負債	59,866	69,100	9,233
負債合計	167,708	237,524	69,816
純資産	201,651	208,654	6,997
負債・純資産合計	369,365	446,179	76,814

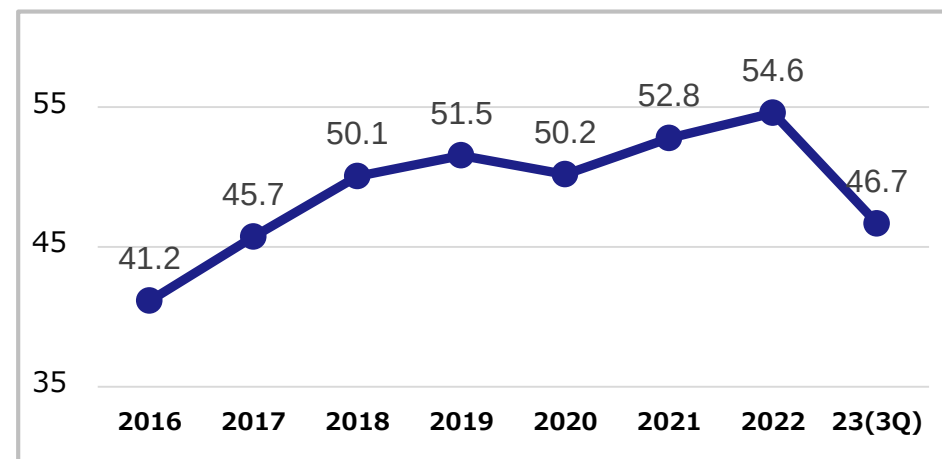
■ 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
営業CF	10,311	11,490
投資CF	△6,324	△65,240
FCF	3,987	△53,749
財務CF	△11,382	54,158
現金及び現金同等物の 期末残高	22,489	13,644

■ 自己資本比率

(%)



2023年11月27日（月） なんば本店 土地・建物に関する信託受益権を取得

所在地： 大阪府中央区難波三丁目2番18号
（エディオンなんば本店）

取得資産： 土地 4,237.88㎡
建物 22,974.19㎡
（延床面積 地下1F～9F）

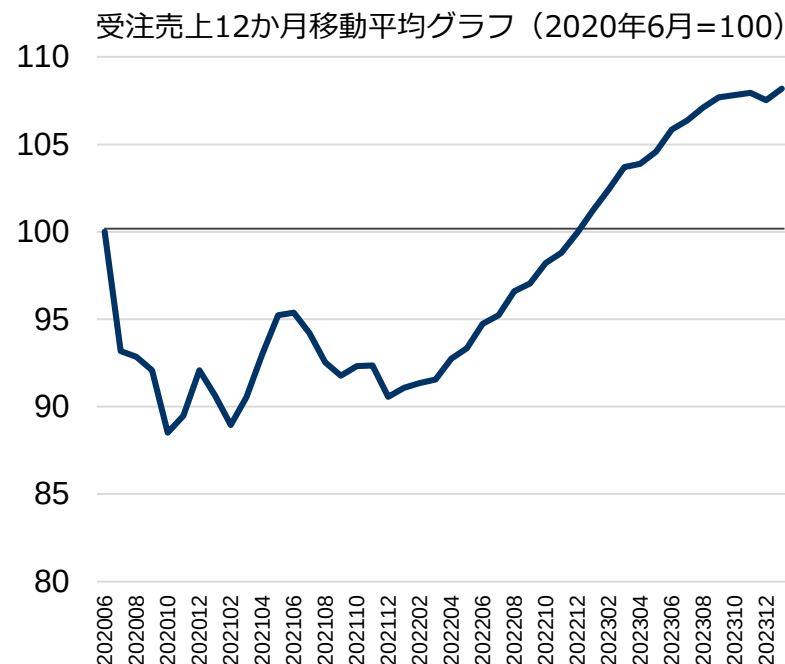
取得金額： 540億円

資金： 自己資金及び借入

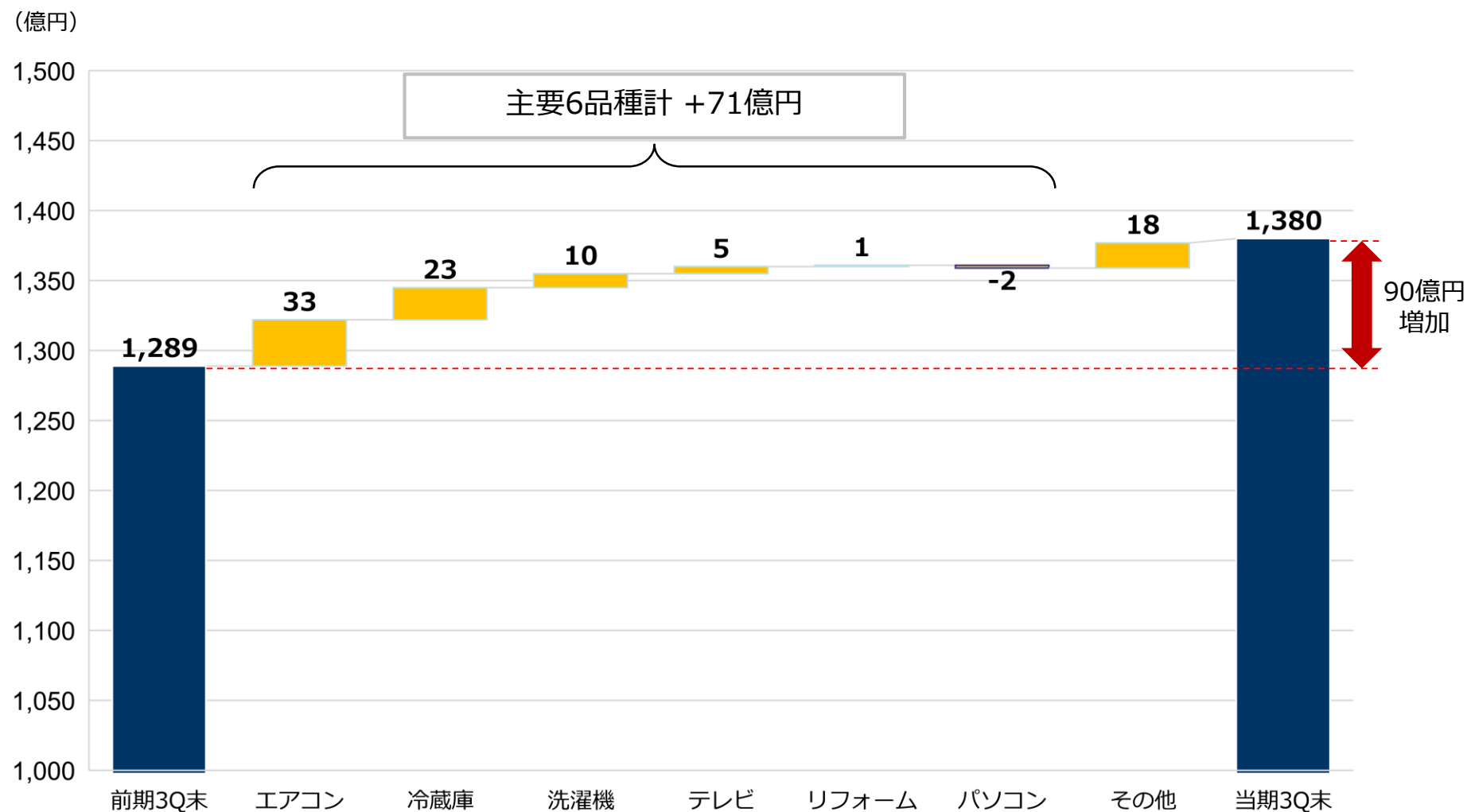


なんばエリアの乗降客数 約90万人/日

**11月23日「なんば広場」がオープン
大阪の玄関口としての賑わい創出にも期待**



主要品種在庫状況（前年同期比）



※ 1 億円未満を切り捨て表示しています

百万円・%	第3四半期累計実績		第4四半期予想		2024年3月期通期予想			
	実績	前年比	予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	537,608	99.8	207,391	113.9	100.0	745,000	103.4	+24,415
売上総利益	156,849	98.6	61,500	118.8	29.3	218,350	103.5	+7,473
販売管理費	144,572	99.8	54,277	116.0	26.6	198,850	103.7	+7,159
広告宣伝費・販売費	35,536	99.9	11,783	111.2	6.4	47,320	102.5	+1,162
人件費	59,225	99.3	21,274	108.2	10.8	80,500	101.5	+1,207
設備費・管理費	41,953	100.8	18,567	135.1	8.1	60,521	109.2	+5,145
減価償却費	7,856	97.1	2,652	95.6	1.4	10,508	96.7	△356
営業利益	12,277	86.4	7,222	145.3	2.6	19,500	101.6	+313
経常利益	12,572	89.8	6,927	132.0	2.6	19,500	101.3	+251
親会社株主に帰属する当期純利益	8,051	85.8	3,448	171.5	1.5	11,500	100.9	+106

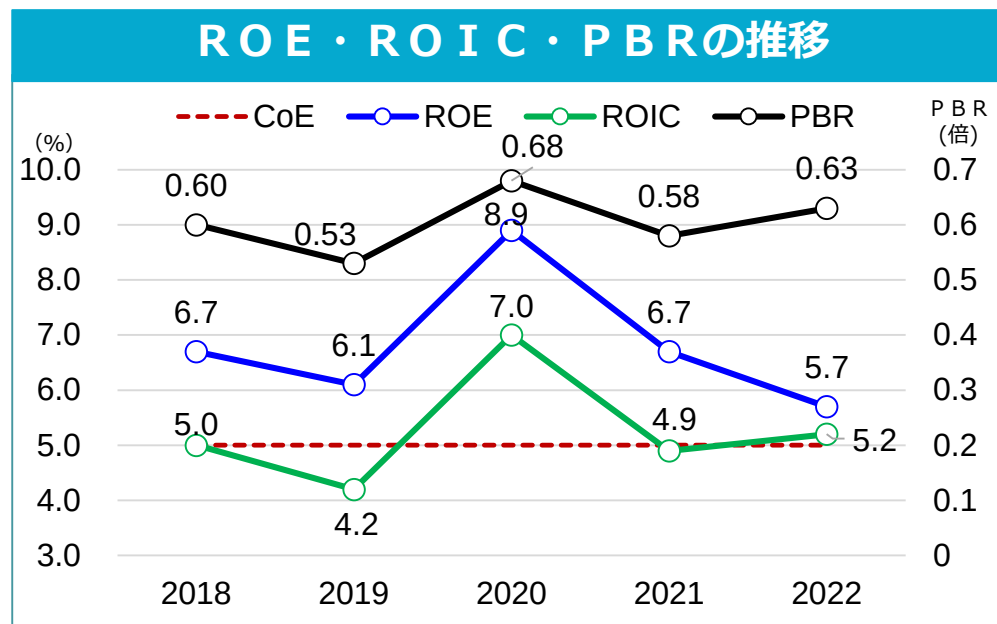
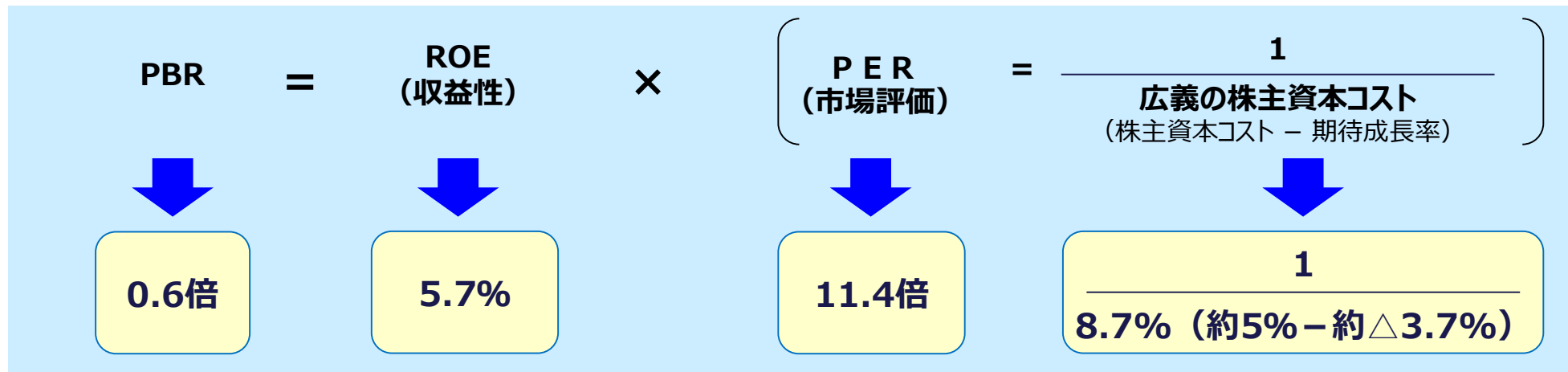
通期予想に変更はありません

- 売上高 7,450億円（前年比 103.4%）
- 粗利率 29.3%
- 販売費および一般管理費 1,988億円（前年比 103.7%）
- 経常利益 195億円
- 当期利益 115億円

■ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について EDION

■ PBRの分析・評価

株主資本コスト（CoE）：CAPMを用いて約5%と推定



- ・ ROEは株主資本コストを上回って推移しているが株主期待水準（8%以上）には至らず、資本収益性の改善が重要
 - ⇒ 収益力の向上
 - ⇒ 資本政策
 - ⇒ キャッシュアロケーション(C/F配分)
 - ・ 期待収益率に計画との乖離が見られる
 - ⇒ 中長期的な成長ビジョンとその実現性
 - ⇒ 投資家との対話、ガバナンス体制
- サステナビリティ経営の推進

■ 出店・移転・閉店実績および計画

RC			新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2022年度実績		通 期	5店舗	3店舗	4店舗	+1店舗	450店舗
2023年度	実績	上 期	4店舗	5店舗	4店舗 (うち非家電2)	±0店舗	450店舗
		第3四半期	5店舗	1店舗	-	+5店舗	455店舗
		通 期	9店舗	6店舗	4店舗 (うち非家電2)	+5店舗	455店舗



交野星田店（2023年10月20日オープン）

店舗数（2023年12月末時点）
エディオングループ 1,211 店舗
 ■直営店 455店舗 ■フランチャイズ店 756店舗

■ 9時間営業店舗の増加

200店舗まで拡大

■ 既存店舗の塗装

40店舗実施予定

■ 初の関東旗艦店『横浜西口本店』がオープン

関東エリアの旗艦店として神奈川県に「エディオン横浜西口本店」がオープン

GRAND OPEN!

2023年12月15日（金）



劇場型アミューズメントパークを目指し、個性的な6フロアを展開

■ 横浜西口本店の紹介



■ プライベートブランド e angle から新製品を発売



くらしを、新しい 角度から。

New 食器洗い乾燥機

洗剤自動投入

設置方法2WAYタイプ。



2023年12月20日 発売

国内初 洗剤自動投入機能を搭載した食器洗い乾燥機

New 冷蔵庫

コンパクトなのに
大容量。



2023年12月8日 発売

2WAYイヤホン

ワイヤレスと有線の
どちらでも使える。



2023年5月20日 発売

■ エディオン × ニトリ 共同開発商品の取り扱いを開始

12月15日 ニトリとの共同開発商品の取り扱いを開始

angle
Select

DAY Value

これからの暮らしに、自分らしさをプラス。
Simple+ONE



スチームオーブントースター



電気ケトル



ドリップケトル



x



■ 株主優待の拡充

株主優待制度 長期保有加算金額の変更を実施



当社ECサイトでも利用可能な電子ギフトカード
 便利な優待として各種メディアに多数の掲載実績

長期の保有でもっと **お得** に変わります！

ご所有株数	ご優待金額 (ギフトカード)	1年以上継続保有 加算額
100 ～ 499 株	3,000円分	1,000円分
500 ～ 999 株	10,000円分	
1,000～1,999 株	15,000円分	2,000円分
2,000～4,999 株	20,000円分	
5,000～9,999 株	25,000円分	
10,000株以上	50,000円分	



継続保有期間加算額		
1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1,000円分	2,000円分	3,000円分
2,000円分	3,000円分	4,000円分
2,000円分	3,000円分	4,000円分

※1 長期保有の対象となる株主様は、同一株主番号で連続して2回以上、3月31日現在の株主名簿に記録された1単元（100株）以上ご所有の株主様となります。

※2 直近の権利付き最終売買日は3月27日、権利確定日は3月29日。（優待発送および配当分配は6月）

■ 配当・株価推移

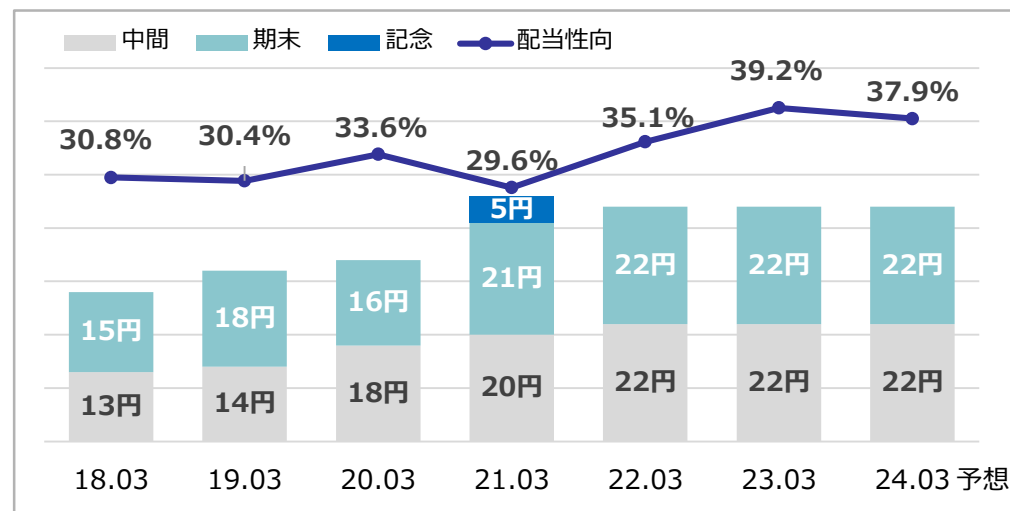
ROI向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



■ サステナビリティ経営の強化～社会課題の解決にむけて～

取り組み強化

1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ一体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



2 健康経営の推進

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。



3 地域社会への支援

一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



4 サステナビリティ推進委員会の設置

当社では、「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいという考えのもと、エディオングループの経営理念に基づいて当社の持続的な成長とすべてのステークホルダーの発展に資するため、サステナビリティに関する取り組みを推進しています。

なかでも気候変動に伴うリスクや機会は、事業戦略や財務計画に大きな影響を及ぼすものと認識し、サステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、2022年6月にサステナビリティ推進委員会を発足しました。

注意事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- ・本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料につきましては、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。



2024年2月2日